

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市二葉1丁目2工区計画	階数	地上4F
建設地	横須賀市二葉1丁目2231番地6、ほか一筆	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	85人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年8月17日
敷地面積	2,882 m ²	作成者	一級建築士事務所(株)吉田正志 建築設計室
建築面積	1,036 m ²	確認日	2018年8月18日
延床面積	3,289 m ²	確認者	一級建築士事務所(株)吉田正志 建築設計室



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	86%
③上記+②以外のオンサイト手法	86%
④上記+オフサイト手法	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	1.6
光・視環境	3.6
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.8
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	2.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	1.0
地域性・アメニティ	2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の熱負荷	4.5
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.8
効率的な運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	2.5
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮	3.5
地域環境への配慮	2.3
周辺環境への配慮	3.2

3 設計上の配慮事項

総合		その他
傾斜地である計画敷地において、敷地内の法面等を可能な限り緑化し、また既存緑化を利用することで景観に配慮している。		特に無し。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を採用し、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 個室有効面積を10m ² /床確保し、利用者が快適に生活できるよう配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地南端部の既存緑地を保存することで、自然保護に配慮している。
LR1 エネルギー 外壁、屋根等に断熱性の高い断熱材を採用し、冷暖房の使用エネルギー量を削減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を用いることで水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 照明をタイマー式とし、近隣に光害を与えないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される